

問1 17世紀から19世紀にかけてのインドの統治体制の変遷について述べた文として、歴史的事実に基づき最も適切なものを選びなさい。（2023年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 1857年のインド大反乱を鎮圧したイギリスは、東インド会社を解散させ、政府による直接支配を開始した。 | 2. イギリスは産業革命の進展に伴い、当初から東インド会社を介さずイギリス政府が直接インドを統治した。 | 3. インド大反乱が発生したことで、イギリス政府は統治権をすべて東インド会社に委ねる方針に転換した。 | 4. イギリスはプラッシーの戦いに勝利した直後から、インド皇帝を廃止してイギリス国王による直接統治を行った。 |
|---|---|--|--|

問2 日米修好通商条約に含まれる「関税自主権の欠如」が、当時の日本に与えた影響やその仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 自国の判断で輸入品に高い税率をかけることができず、安価な外国製品の流入から国内産業を守ることが難しくなった | 2. 外国政府が日本の輸出額を自由に管理できるようになり、日本国内の物資が極端に不足する事態を招いた | 3. 日本に入港するすべての外国船から徴収する税金をアメリカに支払う義務が生じ、国家財政が破綻した | 4. 日本国内で流通する貨幣の発行権を外国に譲り渡すことになり、幕府が経済政策を主導できなくなった |
|--|--|---|---|

問3 1857年に発生したインド大反乱を鎮圧し、同時期の日本において、幕府と安政の五カ国条約を締結した欧米列強の一つとして正しい国名を選びなさい。（2026年 山形公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. イギリス | 2. アメリカ | 3. ロシア | 4. フランス |
|---------|---------|--------|---------|

問4 産業革命は人々の生活に豊かさをもたらした一方で、急速な都市化に伴う深刻な社会問題も引き起こしました。当時のイギリスの工業都市で発生した社会問題の説明として、適切なものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 労働者が集中したことによる住宅不足や、不衛生な環境による生活環境の悪化 | 2. 農村部での労働力不足により、国内の食料自給率が極端に高まりすぎたこと | 3. 工場での生産が過剰になり、すべての製品が売れ残って都市が廃墟化したこと | 4. 都市部の地価が高騰しすぎて、すべての工場が再び農村部へ移転したこと |
|--|---------------------------------------|--|--------------------------------------|

問5 19世紀、イギリスは自国の綿織物をインドへ、インドで作らせたアヘンを清へ輸出させる「三角貿易」の仕組みを築きました。この貿易構造が当時の清にもたらした経済的な影響として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 高知公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|---|--|
| 1. アヘンの輸入代金として、清国内の銀が国外へ大量に流出した | 2. イギリスへの茶の輸出が急増したことで、清国内に大量の銀が流入した | 3. インドから安価な綿織物が流入したことで、清の国内綿産業が飛躍的に発展した | 4. イギリスから最新の工業製品が直接持ち込まれ、清の産業の近代化が急速に進んだ |
|---------------------------------|-------------------------------------|---|--|

問6 南北戦争において、リンカン大統領が率いる北部の勢力が掲げていた、社会制度および経済政策の方針として適切なものはどれですか。（2020年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 奴隷制の拡大に反対し、国内の工業を発展させるために保護貿易を主張した。 | 2. 奴隷制を維持することで農業生産力を高め、自由貿易によって海外へ輸出することを主張した。 | 3. 奴隷制を全面的に容認し、イギリスとの同盟を深めるために自由貿易を推進した。 | 4. 奴隷制の廃止を掲げる一方で、経済面では海外製品を広く受け入れる自由貿易を求めた。 |
|--|--|--|---|

問7 19世紀のアメリカ合衆国では、奴隷制の拡大をめぐる国内が二分される南北戦争が起こりました。この戦争中の激戦地であったゲティスバーグにおいて、「人民の、人民による、人民のための政治」という演説を行い、近代民主主義の理想を説いた人物は誰ですか。（2026年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|------------|-----------|
| 1. リンカーン | 2. ワシントン | 3. ジェファーソン | 4. ルーズベルト |
|----------|----------|------------|-----------|

問8 幕末の1867年、社会情勢が不安定化する中で「ええじゃないか」と叫びながら群衆が熱狂的に踊るなどの騒動が各地で起こりました。このような混乱が続く中、江戸幕府の第十五代将軍である徳川慶喜が行った、政権を朝廷に返上する出来事を何と呼びますか。（2026年 千葉公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 大政奉還 | 2. 版籍奉還 | 3. 廃藩置県 | 4. 王政復古の号令 |
|---------|---------|---------|------------|